

2

平成22年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,186億
9,700万円

一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金の出し入れするお財布です。

平成22年度の当初予算の額は、1,186億9,700万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など10の特別会計があります。

665億
9,345万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 ……11億9,658万円
- 競輪事業費 ……40億3,363万円
- 墓園事業費 ……4億 885万円
- 国民健康保険事業費 ……367億2,950万円
- 地方卸売市場事業費 ……1億5,740万円
- 老人保健事業費 ……3,623万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費 ……8億 938万円
- 湘南台駐車場事業費 ……1億4,790万円
- 介護保険事業費 ……192億9,606万円
- 後期高齢者医療事業費 ……37億7,792万円

342億
8,800万円

公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

普通会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

藤沢市には、下水道と病院の二つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 ……171億6,627万円
- 市民病院事業 ……171億2,174万円



全会計 **2,195億7,845万円**

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況ですか?



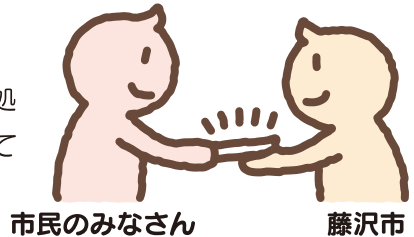
では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成22年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

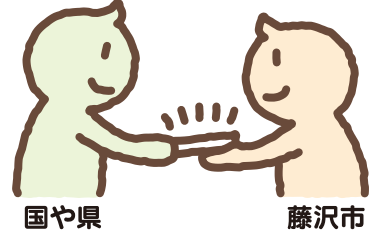
自主財源
853億2,831万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。

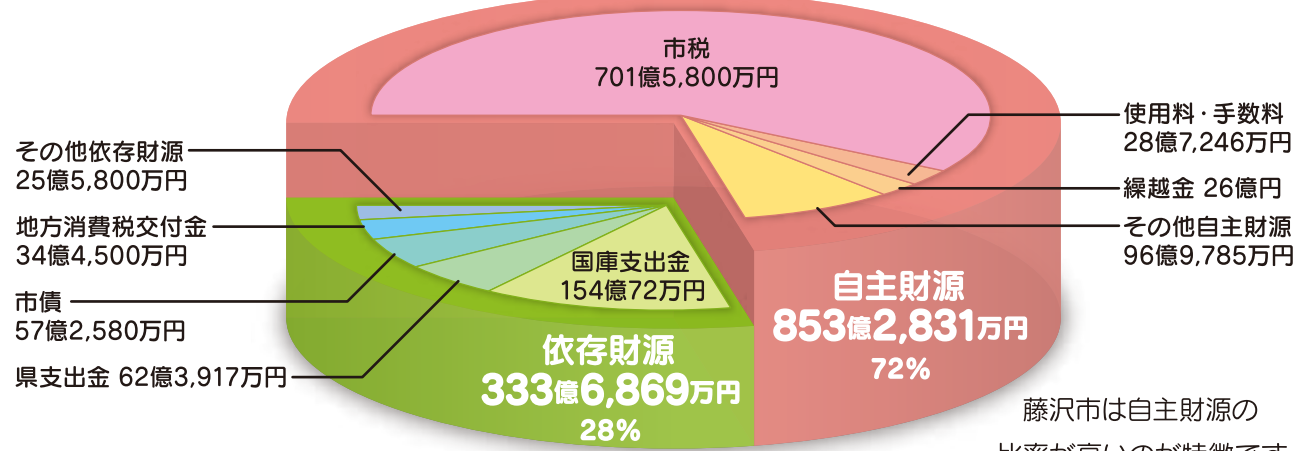


依存財源
333億6,869万円

道路や施設を作るときに国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

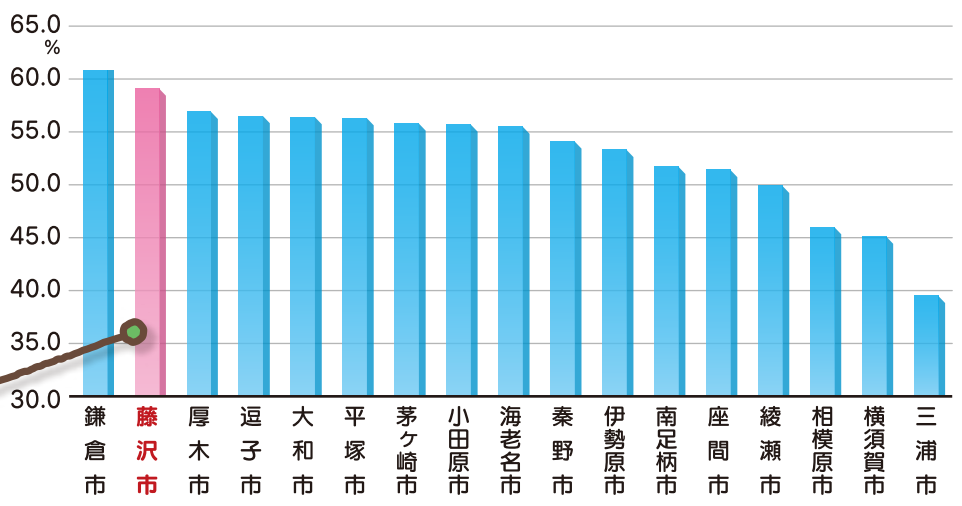


●平成22年度歳入予算の内訳

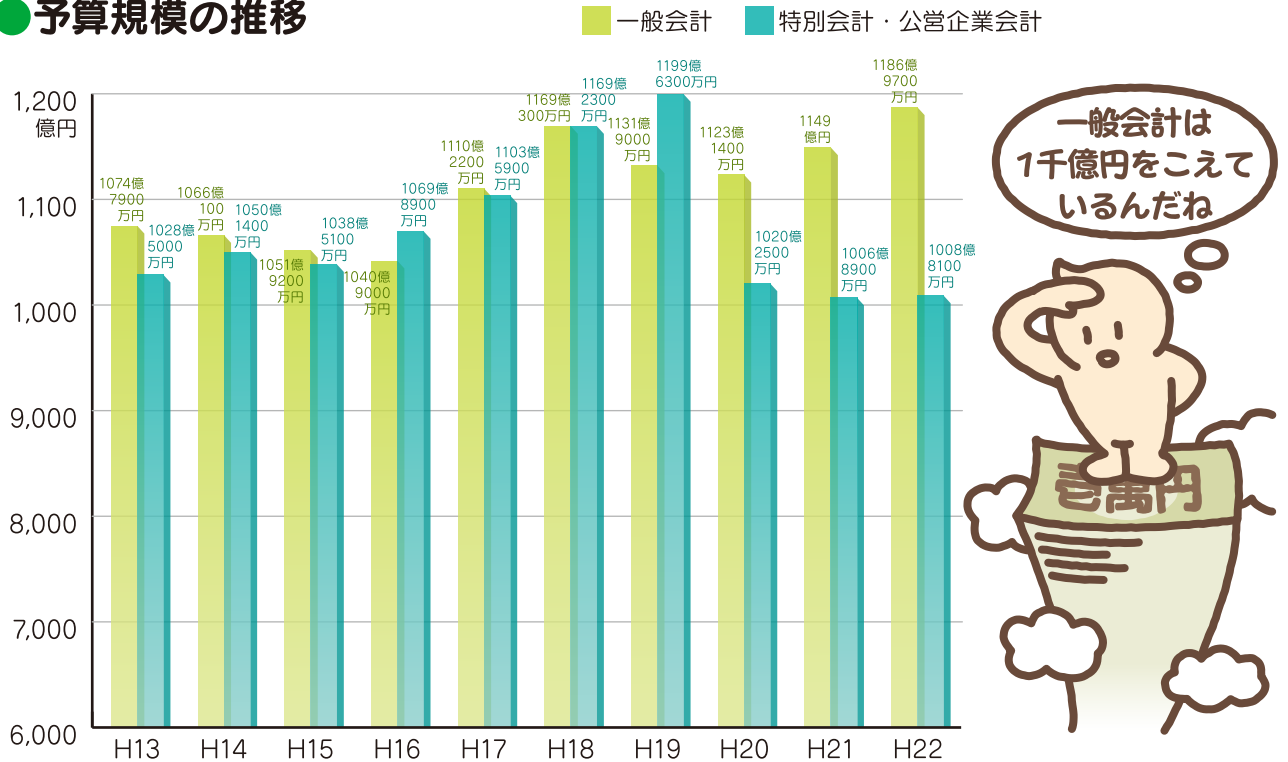


●歳入予算に占める市税の割合

藤沢市は
県下17市中
第2位です



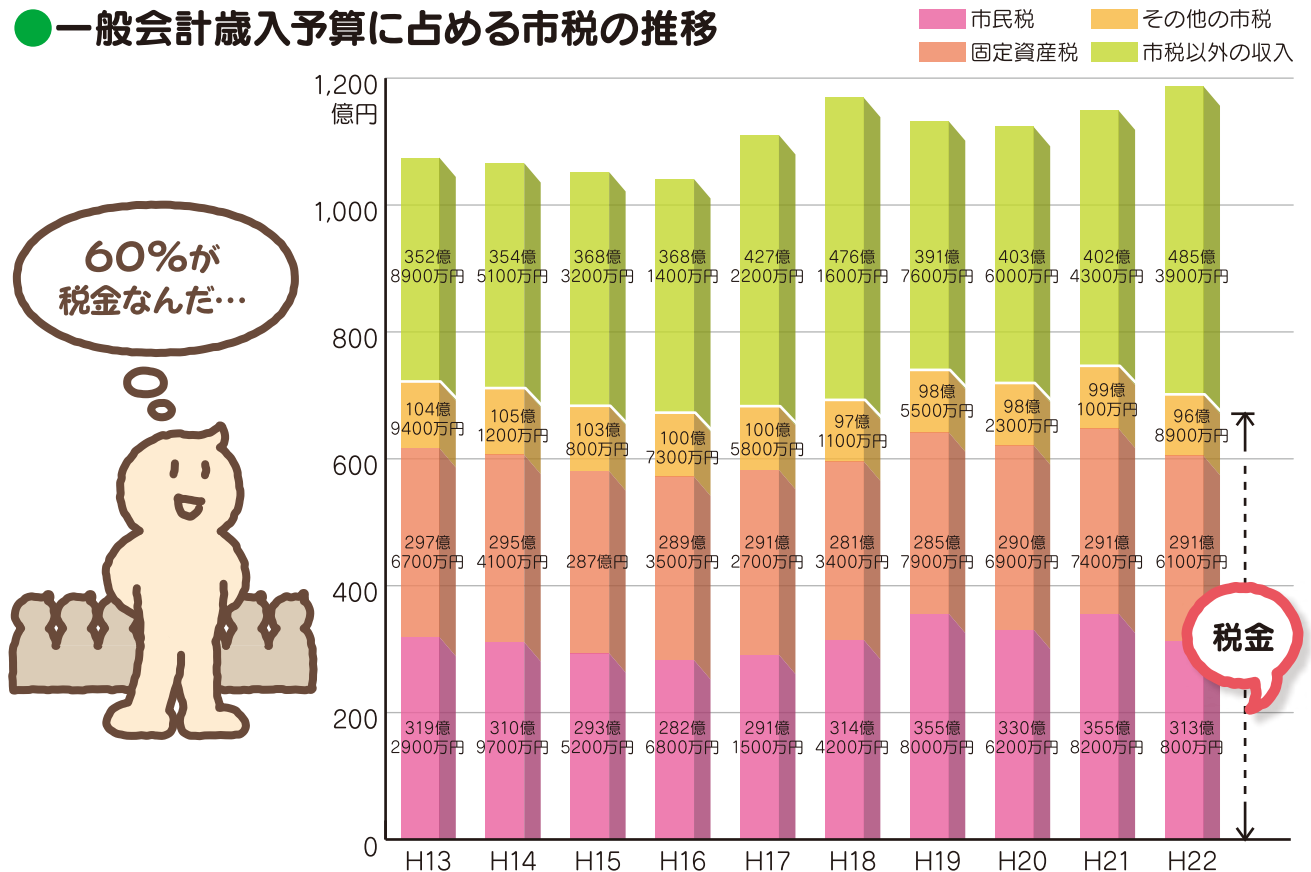
● 予算規模の推移



一般会計の予算規模は主に扶助費の増加により拡大傾向です。平成22年度は子ども手当の創設により増加しています。

特別会計は平成20年度に後期高齢者医療制度がスタートして保険事業の一部が神奈川県後期高齢者医療広域連合へ移行されたため減少しています。

● 一般会計歳入予算に占める市税の推移



市民税や固定資産税など市税収入の歳入予算全体に占める割合は、ほぼ毎年60%を超えていましたが、平成22年度は景気後退の影響を受けて59%となっています。

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況ですか?

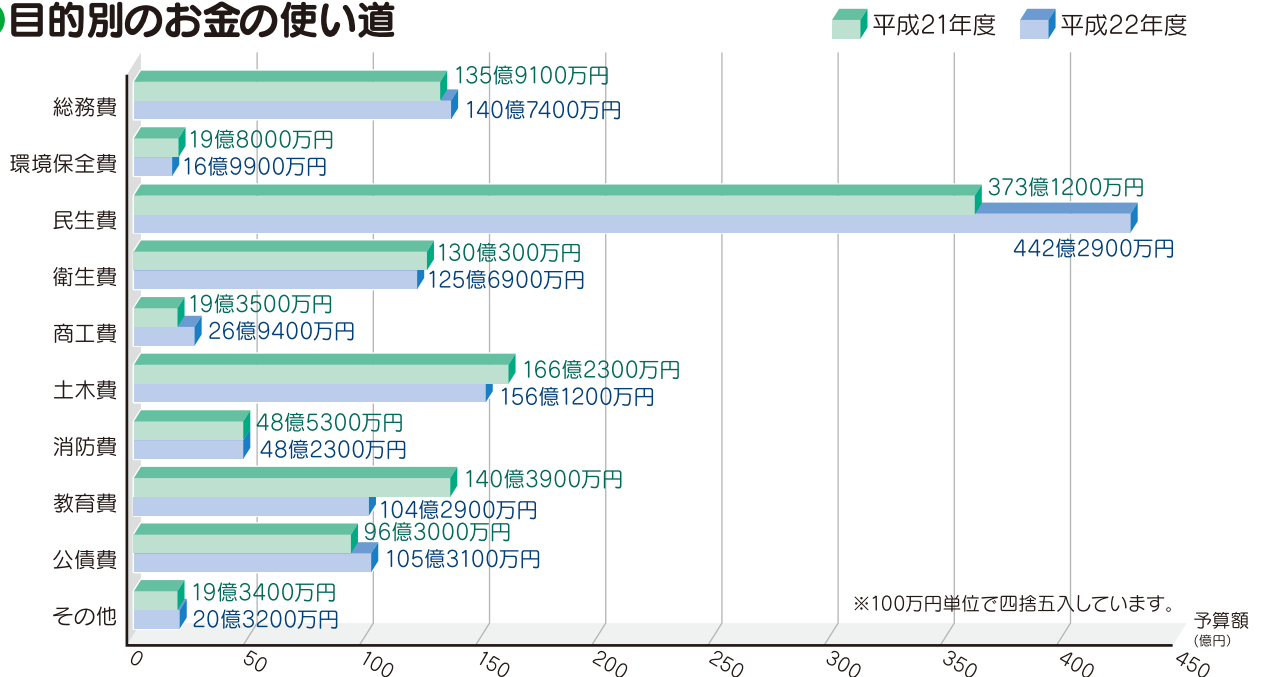
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、道路や学校を作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。

では、何にお金を使っているのでしょうか? 簡単に説明すると次のようになります。



● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営費、小児医療、高齢者や障害者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

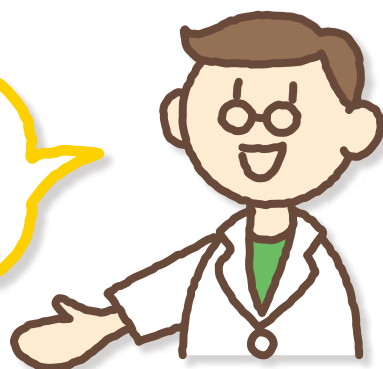
教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えて
みると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	701億5,800万円	人件費	263億6,917万円
使用料、手数料など	151億7,030万円	扶助費	274億8,277万円
【自主財源合計】	853億2,830万円	物件費	196億9,793万円
国・県支出金など	276億4,290万円	投資的経費・維持補修費	107億5,112万円
市債の発行	57億2,580万円	公債費	105億2,506万円
		繰出金・補助費など	209億6,924万円
		積立金・貸付金	29億 171万円
収入の合計	1,186億9,700万円	支出の合計	1,186億9,700万円

家計簿に例えると…

こんな感じかな…

収 入		支 出	
お父さんの給料	24万2,000円	食 費	9万1,000円
お母さんのパート代	5万2,000円	医療費・保育料	9万5,000円
【給料等の合計】	29万4,000円	光熱水費や被服代	6万8,000円
その他臨時収入	9万6,000円	家の増築・修理、家財購入	3万7,000円
銀行からの借入	2万円	住宅ローン返済	3万6,000円
		子どもへの仕送り	7万3,000円
		貯 金	1万円
収入の合計	41万円	支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 837億9,300万円 家計では352万9,700円
預貯金の残高は(基金残高)117億3,000万円 家計では 49万4,100円

※平成20年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で71.9%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

